

総合評価結果報告書

施設の名称	静岡市ふれあい健康増進館		
課名	スポーツ振興課		
指定管理者名	静岡市ふれあい健康増進館管理運営共同企業体		
指定期間	平成28年4月1日～令和3年3月31日		
評価委員会 開催年月日	令和2年7月28日(火)		
評価委員 ※()内は職名 等を記載してく ださい。	①委員長 杉山 範雄 (スポーツ振興課長) ②委員 木宮 敬信 (静岡市スポーツ推進審議会会長) ③〃 狩野 充央 (静岡市スポーツ推進委員連絡協議会会長) ④〃 鈴木 文恵 (文化財課埋蔵文化財係長) ⑤〃 萩原 智美 (文化振興課課長)		
評価点 (各委員平均点)	96.0点	評価	(A)・B・C・D・E
評価結果詳細	別紙「総合評価結果総括表」のとおり		
総合評価結果を踏 まえての施設所管 課としての意見	<p>1 履行状況の確認について</p> <p>職員が施設の設置目的を充分理解しており、研修により周知徹底を図っている点は評価できる。</p> <p>また、施設の管理運営については業務仕様書及び事業計画書に沿った事業が実施されている。さらに職員による日常点検にて施設の不具合箇所を早期発見・修繕し、緊急時は適切な対応ができています。</p> <p>2 指定管理者の創意工夫について</p> <p>地元部農会や民間会社と連携・協働し、四季折々のイベントを開催し、施設設置目的である世代間交流を促進をしている。</p> <p>さらに、定期利用者に対し、ポイントカードの導入や閑散期のキャンペーンを実施している。また、子育て優待カードの導入や幼稚園児向けクーポンの発行によりファミリー層の利用者が増加し、利用者及び収入増加のため多様な事業を実施しており評価できる。</p> <p>新型コロナウイルス感染症拡大防止のため臨時休館した際は、インストラクターによる自宅でも出来る運動をSNS上に公開</p>		

	<p>し、運動する機会を提供している。</p> <p>3 市民（利用者）のサービス向上について</p> <p>利用者満足度調査の結果をもとに改善・見直しを図り、年々利用者満足度は向上しており、利用者ニーズに沿った運営がなされている。</p> <p>また、地域団体と連携し多様な事業を実施し、地域貢献・地域活性化への参画ができています。</p> <p>4 施設固有の評価項目について</p> <p>創意工夫を凝らした割引制度を積極的に導入し、利用者及び収入増加を図っている。また、公益財団法人静岡市まちづくり公社と静鉄プロパティマネジメントとの連携により、ファミリー向け広報を強化し、施設の利用促進が図られている。</p> <p>一般利用者の増加に伴い、施設利用料金収入及び売店事業の売上が増加傾向であり、電力自由化への対応や照明のLED化を実施し、経費削減に努めていることから、収支状況は適正であり、実績として充分評価できる。</p>
--	---

総合評価結果総括表

施設の名称 [静岡市ふれあい健康増進館]

課名 [スポーツ振興課]

指定管理者名 [静岡市ふれあい健康増進館管理運営共同事業体]

		A 評価 委員	B 評価 委員	C 評価 委員	D 評価 委員	E 評価 委員	平均 点
1 履行状況の確認		【配点50点】					
(ア) 職員が施設の設置目的および施設運営上の基本方針を理解し、運営をおこなっている。		5	5	5	4	5	4.8
(イ) 当初、計画書等に示された事業目的を達成することができたか。	当初の計画書等に示された施設維持管理がなされているか。	5	4	5	4	5	4.6
	指定事業の実施は適正に行われているか。	5	4	5	4	5	4.6
	自主事業の実施は、当初の計画書通りに実施されているか。	5	5	5	4	5	4.8
(ウ) 施設の管理体制は適切か。	安全な利用に支障がきたすことのないよう、施設の維持管理、日常的な点検・清掃、修繕等が実施されている。	5	5	5	4	5	4.8
	災害発生時の対応体制を整備し、避難訓練や防災訓練を実施している。	2	2	2	2	2	2
	緊急時、事故発生時の迅速な対応と市への報告がなされている。	2	2	2	2	2	2
	管理運営にかかる規則、規程、マニュアル、業務日誌等を作成し、適正に業務が行われている。	2	2	2	2	2	2
	利用者受付業務は適切か	2	2	2	2	2	2
	職員が利用者に対して公平で公正な利用ができるよう努めている。(対応、接遇等)	2	2	2	2	2	2
	個人情報の保護において、適正な運用がされている	2	2	2	2	2	2
	必要な人員、適正な能力を持った職員の適正な人員配置がなされている。	3	3	3	3	3	3
	第三者委託先との調整が適切に行われ、業務の履行において監視、指導、確認等が行われているか。	2	2	2	2	2	2
	適切な会計処理がされ、経理書類の作成と保管がなされている。	2	2	2	2	2	2
	モニタリングにおいて、改善事項等が生じた場合、改善が見られたか。(改善事項がない場合は1点)	2	2	2	1	2	1.8
職員が研修しやすい環境を整え、職員の資質向上に努めているか。(資格の取得やスキル向上のための外部研修)	2	2	2	2	2	2	
環境に配慮した調達や業務実施が行われているか	2	2	2	2	2	2	
小計		50	48	50	44	50	48.4
2 指定管理者の創意工夫		【配点15点】					
(ア) 自主事業における工夫 (新たな事業価値の創出)	貸館業務や指定業務の妨げにならないよう、自主事業の運営を行い、施設の有効活用に努めているか。	2	2	2	2	2	2
	自主事業において創意工夫がみられ、魅力的な賑わい創出につながる事業を行っているか。	2	2	2	2	2	2
	利用者増加のための提案事業(自主事業)を積極的に行ったか。	2	2	2	2	2	2
(イ) 収入増加のため、指定管理者のノウハウ(専門性・技術・経験等を活かした事業等)を活かした具体的な取り組みが行われているか。	(施設利用促進の方策ができていますか)	2	2	3	3	3	2.6
(カ) 利用者ニーズに沿った事業の見直しを行い、事業の改編等を行っている		3	2	3	3	3	2.8
(キ) 初心者を考慮(事業内容や新規受講者獲得)した事業の実施がされているか		2	3	3	3	3	2.8
小計		13	13	15	15	15	14.2

		A 評価委員	B 評価委員	C 評価委員	D 評価委員	E 評価委員	平均点
3 市民（利用者）のサービスの向上		【配点15点】					
(ア) 教室受講者の満足度調査について	目標を達成することができたか。	3	3	3	3	3	3
	調査結果分析を行い、満足度向上のための具体的な取組に反映しているか	2	2	2	2	2	2
(イ) 利用者・市民アンケートについて	利用者アンケート等の調査結果を分析し課題を抽出しているか	1	1	1	1	1	1
	利用者アンケート等から抽出した課題に対して、対応策を講じているか。	1	1	1	1	1	1
	利用者アンケート等の結果や課題対応策の公表をしているか。	1	1	1	1	1	1
(ウ) 苦情について	市へ苦情が寄せられたことがあるか（指定管理者管理によるもののみ）	1	1	1	1	1	1
	苦情等が寄せさせた内容を記録し、内容を検討し、対応策を講じているか	2	2	2	2	2	2
(エ) 利用者に対して施設情報やイベント等の情報提供に努めている。	(HP等のアクセス数など)	2	2	2	2	2	2
(オ) 関係機関との連携・交流等を図るとともに、地域への参画を積極的に行い、質の高いサービスが提供できるよう努めた。	地域貢献・地域活性化への参画ができていますか	2	2	2	2	2	2
小計		15	15	15	15	15	15
4 施設固有の評価項目		【配点20点】					
(ア) 指定管理者の経理状況の評価 (収支計画・実績について)	効率的な執行や経費削減の具体的な取り組みは行われたか。	3	3	3	3	3	3
	適正な収入が得られているか。	2	2	2	2	2	2
	事業計画の健全性を把握した事業展開がされているか。	2	2	2	2	2	2
	事業収支において、適正な会計処理がなされているか。	2	2	2	2	2	2
(イ) 複数施設を一括管理している中で、他施設との連携事業を行なっている。		4	3	5	3	5	4
(ウ) 施設の特性を生かした地域交流を行ない、ネットワークを構築している。	地元市町村や関係団体との連携広報計画など、施設利用促進に向けて具体的な方策を有しているか利用促進に向けて具体的な方策を有しているか。	3	3	3	2	3	2.8
(エ) 施設特有の料金体系を提案するなど、独自性をもって事業展開をしている。		3	2	3	2	3	2.6
小計		19	17	20	16	20	18.4
合計		97	93	100	90	100	96

※平均点は、小数点以下第2位を四捨五入する。

各評価委員の所見のまとめ（※各評価委員の所見をそのまま記載してください。）

【A評価委員】
・共同事業体として静鉄プロパティマネジメントのネットワークやノウハウを生かし、広報の強化、利用者の分析によるシャトルバスの運行ルート追加など、パートナーとして十分な効果を発揮している。
【B評価委員】
・施設管理は適正に行われている。 ・人件費の支出が減少しているのは、施設職員上位職の退職等によるものであり、収支状況は適正である。
【C評価委員】
・館内の現状について、プール以外の各部屋についても利用状況は良好である。
【D評価委員】
・高齢者のみではなく、ファミリー層をターゲットに利用者増を目指しており、目的を達成するために共同事業体として民間企業を加えた事業展開は成果を上げているため評価できる。
【E評価委員】
・どうしたら利用者が増えるか、常に考えている姿勢が見受けられ職員が頑張っており、経費削減にも積極的に取り組んでおり、歳入・歳出ともに取り組んだ成果が現れている。
評価委員会としての意見
・施設は適正に管理されている。 ・利用者数及び施設利用料金収入の増加を図るため、多様な事業展開や利用料金制度を活用しており、高く評価できる。 ・定期利用者の高齢化に伴い定期利用者数の減少は避けられないため、ファミリー層が多い一般利用者が定期利用者へと繋がる事業企画を期待する。

総合評価結果総括表

施設の名称 [静岡市ふれあい健康増進館]

課名 [スポーツ振興課]

指定管理者名 [静岡市ふれあい健康増進館管理運営共同事業体]

		A 評価 委員	B 評価 委員	C 評価 委員	D 評価 委員	E 評価 委員	平均 点
1 履行状況の確認		【配点50点】					
(ア) 職員が施設の設置目的および施設運営上の基本方針を理解し、運営をおこなっている。		5	5	5	4	5	4.8
(イ) 当初、計画書等に示された事業目的を達成することができたか。	当初の計画書等に示された施設維持管理がなされているか。	5	4	5	4	5	4.6
	指定事業の実施は適正に行われているか。	5	4	5	4	5	4.6
	自主事業の実施は、当初の計画書通りに実施されているか。	5	5	5	4	5	4.8
(ウ) 施設の管理体制は適切か。	安全な利用に支障がきたすことのないよう、施設の維持管理、日常的な点検・清掃、修繕等が実施されている。	5	5	5	4	5	4.8
	災害発生時の対応体制を整備し、避難訓練や防災訓練を実施している。	2	2	2	2	2	2
	緊急時、事故発生時の迅速な対応と市への報告がなされている。	2	2	2	2	2	2
	管理運営にかかる規則、規程、マニュアル、業務日誌等を作成し、適正に業務が行われている。	2	2	2	2	2	2
	利用者受付業務は適切か	2	2	2	2	2	2
	職員が利用者に対して公平で公正な利用ができるよう努めている。(対応、接遇等)	2	2	2	2	2	2
	個人情報の保護において、適正な運用がされている	2	2	2	2	2	2
	必要な人員、適正な能力を持った職員の適正な人員配置がなされている。	3	3	3	3	3	3
	第三者委託先との調整が適切に行われ、業務の履行において監視、指導、確認等が行われているか。	2	2	2	2	2	2
	適切な会計処理がされ、経理書類の作成と保管がなされている。	2	2	2	2	2	2
	モニタリングにおいて、改善事項等が生じた場合、改善が見られたか。(改善事項がない場合は1点)	2	2	2	1	2	1.8
職員が研修しやすい環境を整え、職員の資質向上に努めているか。(資格の取得やスキル向上のための外部研修)	2	2	2	2	2	2	
環境に配慮した調達や業務実施が行われているか	2	2	2	2	2	2	
小計		50	48	50	44	50	48.4
2 指定管理者の創意工夫		【配点15点】					
(ア) 自主事業における工夫 (新たな事業価値の創出)	貸館業務や指定業務の妨げにならないよう、自主事業の運営を行い、施設の有効活用に努めているか。	2	2	2	2	2	2
	自主事業において創意工夫がみられ、魅力的な賑わい創出につながる事業を行っているか。	2	2	2	2	2	2
	利用者増加のための提案事業(自主事業)を積極的に行ったか。	2	2	2	2	2	2
(イ) 収入増加のため、指定管理者のノウハウ(専門性・技術・経験等を活かした事業等)を活かした具体的な取り組みが行われているか。	(施設利用促進の方策ができていますか)	2	2	3	3	3	2.6
(カ) 利用者ニーズに沿った事業の見直しを行い、事業の改編等を行っている		3	2	3	3	3	2.8
(キ) 初心者を考慮(事業内容や新規受講者獲得)した事業の実施がされているか		2	3	3	3	3	2.8
小計		13	13	15	15	15	14.2

		A 評価委員	B 評価委員	C 評価委員	D 評価委員	E 評価委員	平均点
3 市民（利用者）のサービスの向上		【配点15点】					
(ア) 教室受講者の満足度調査について	目標を達成することができたか。	3	3	3	3	3	3
	調査結果分析を行い、満足度向上のための具体的な取組に反映しているか	2	2	2	2	2	2
(イ) 利用者・市民アンケートについて	利用者アンケート等の調査結果を分析し課題を抽出しているか	1	1	1	1	1	1
	利用者アンケート等から抽出した課題に対して、対応策を講じているか。	1	1	1	1	1	1
	利用者アンケート等の結果や課題対応策の公表をしているか。	1	1	1	1	1	1
(ウ) 苦情について	市へ苦情が寄せられたことがあるか（指定管理者管理によるもののみ）	1	1	1	1	1	1
	苦情等が寄せさせた内容を記録し、内容を検討し、対応策を講じているか	2	2	2	2	2	2
(エ) 利用者に対して施設情報やイベント等の情報提供に努めている。	(HP等のアクセス数など)	2	2	2	2	2	2
(オ) 関係機関との連携・交流等を図るとともに、地域への参画を積極的に行い、質の高いサービスが提供できるよう努めた。	地域貢献・地域活性化への参画ができていますか	2	2	2	2	2	2
小計		15	15	15	15	15	15
4 施設固有の評価項目		【配点20点】					
(ア) 指定管理者の経理状況の評価 (収支計画・実績について)	効率的な執行や経費削減の具体的な取り組みは行われたか。	3	3	3	3	3	3
	適正な収入が得られているか。	2	2	2	2	2	2
	事業計画の健全性を把握した事業展開がされているか。	2	2	2	2	2	2
	事業収支において、適正な会計処理がなされているか。	2	2	2	2	2	2
(イ) 複数施設を一括管理している中で、他施設との連携事業を行なっている。		4	3	5	3	5	4
(ウ) 施設の特性を生かした地域交流を行ない、ネットワークを構築している。	地元市町村や関係団体との連携広報計画など、施設利用促進に向けて具体的な方策を有しているか利用促進に向けて具体的な方策を有しているか。	3	3	3	2	3	2.8
(エ) 施設特有の料金体系を提案するなど、独自性をもって事業展開をしている。		3	2	3	2	3	2.6
小計		19	17	20	16	20	18.4
合計		97	93	100	90	100	96

※平均点は、小数点以下第2位を四捨五入する。

各評価委員の所見のまとめ（※各評価委員の所見をそのまま記載してください。）

【A評価委員】
・共同事業体として静鉄プロパティマネジメントのネットワークやノウハウを生かし、広報の強化、利用者の分析によるシャトルバスの運行ルート追加など、パートナーとして十分な効果を発揮している。
【B評価委員】
・施設管理は適正に行われている。 ・人件費の支出が減少しているのは、施設職員上位職の退職等によるものであり、収支状況は適正である。
【C評価委員】
・館内の現状について、プール以外の各部屋についても利用状況は良好である。
【D評価委員】
・高齢者のみではなく、ファミリー層をターゲットに利用者増を目指しており、目的を達成するために共同事業体として民間企業を加えた事業展開は成果を上げているため評価できる。
【E評価委員】
・どうしたら利用者が増えるか、常に考えている姿勢が見受けられ職員が頑張っており、経費削減にも積極的に取り組んでおり、歳入・歳出ともに取り組んだ成果が現れている。
評価委員会としての意見
・施設は適正に管理されている。 ・利用者数及び施設利用料金収入の増加を図るため、多様な事業展開や利用料金制度を活用しており、高く評価できる。 ・定期利用者の高齢化に伴い定期利用者数の減少は避けられないため、ファミリー層が多い一般利用者が定期利用者へと繋がる事業企画を期待する。